

セブン-イレブン 東京都庁 第二本庁舎店



所在地：東京都新宿区西新宿2丁目8番1号
 店舗面積：197.68㎡
 売場面積：115.68㎡
 設計：(株)市川宏行建築研究所
 施工：内装／(株)ジェス建築企画
 設備／(株)正和電設
 オープン：平成17年1月31日

来庁者・職員への利便性の向上を目的としてオープンした「セブン-イレブン東京都庁第二本庁舎店」。照明は薄形で高効率なネオスクエアⅡを採用し、あかりセンサと組合せて快適な売場空間を創り出しながら省エネが図られています。

都道府県庁の本庁舎内では全国初のコンビニエンスストア

東京都庁第二本庁舎1階北側のロビーに隣接してコンビニエンスストアが開店。この店舗は都庁舎の有効活用及び来庁者・職員の利便性向上を目的として、10数社の応募の中から(株)セブン-イレブン・ジャパンが選定されたもので、都道府県庁の本庁舎内のコンビニエンスストアとしては全国初の店舗です。

店舗外観は、都庁舎内の重厚な石造りに調和するよう木とステンレスを主体とした品格のある清潔なイメージをモチーフとしています。

入口部分は入りやすいフルオープンとして庁舎ロビーとの一体化を図り、店内には機能的で清潔な販売什器をゆったりと配置し、アイテム数約2,500の豊富な品揃えでニーズに対応したサービスを提供しています。

新商品の73W二重角形蛍光ランプを搭載した器具(ネオスクエアⅡ)を全国ではじめて納入

設計条件として「既存建物に加工をしないこと、スプリンクラーなどの既存設備を使用できるようにすること」が掲げられているため、トラス組の天井に構築されています。小形で効率のよい器具として73W二重角形蛍光ランプを搭載した器具(ネオスクエアⅡ)が選定され、32台を千鳥配置にして床上3.0m高さに設置しています。これにより、顧客が商品を見やすく、選びやすく、買いやすい照明環境が創り出されています。照明制御はあかりセンサ(SESⅢ)を採用し、初期照度補正制御により余分な明るさをカットして省エネを図っています。(平均照度：950 lx)

店内右奥には、イートインコーナーが設けられ、木の質感を主として落ち着きとくつろぎの空間としており、照明は柱に60Wミニクリプトンランプブラケットを配置し、壁には32WHf蛍光ランプ2灯用ブラケットが採用されています。



フルオープンとした入口部分から奥を望む：ネオスクエアⅡを千鳥配置で床上3.0mに設置



店内中央部からレジ方向を望む



ブラケットが配置されているイートインコーナー



ネオスクエアⅡ薄形直付(パツフル付)器具
 FHW73EN×1
 (調光約60~100%) FHWフリーV
 FWT-70601PD



あかりセンサSESⅢ

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
店内	スクエア器具(ネオスクエアⅡ)	FWT-70601PD	32	73W二重角形蛍光ランプ(ネオスリムZスクエアⅡ)
	ブラケット	IB30023	8	60Wミニクリプトンランプ
		FVB-32206	2	32WHf蛍光ランプ×2